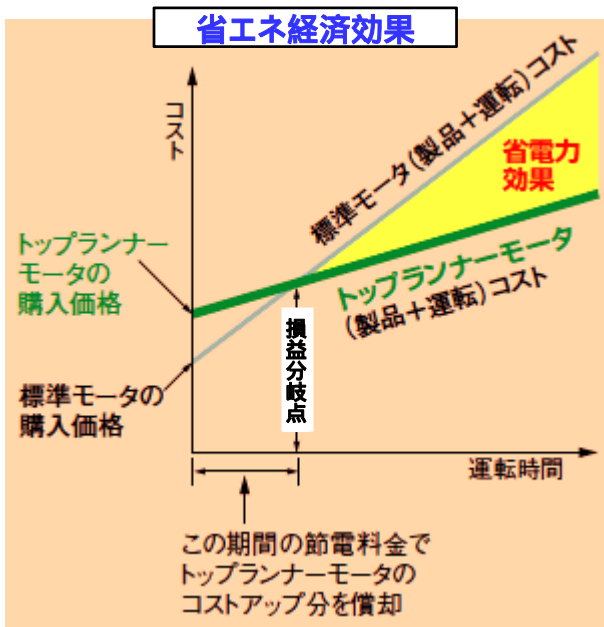


Techno Report

標準モータの生産中止！高効率モータに切り替わります

モータ単体での効率向上を図る国際的な流れを受け、日本でも規制を行う検討が行われてきました。日本では、『エネルギーの使用の合理化に関する法律』(省エネ法)で規定された「**トップランナー基準**」の対象機器として、**2015年4月から製造者への規制が行われる**ことになりました。今後、規制対象となる**従来の標準モータは製造中止となり、国際基準に沿った高効率モータの生産に切り替わります**。この**高効率モータ(トップランナーモータ)採用時**には、回転速度、始動電流、始動トルク、回転数等の特性が変わりますので、機器選定の際には注意が必要です。**モータ交換については当方にお問い合わせ下さい**。



(株)日立産機システム資料から抜粋

トップランナーモータは長時間使用で省電力効果大!

トップランナーモータは標準モータより損失低減を図る専用設計のため製品コストは高くなりますが、運転コスト(電力料金)で製品コスト差額を数年で回収可能です。**ポンプ・送風機など連続で長時間運転**する用途には、運転時間に比例して節電できるので**省電力効果が大きく**現れます。

年間省電力料金試算条件
 電圧 / 周波数: 200V / 50Hz
 年間運転時間: 4,800時間
 (16時間 / 日、300日)
 電力料金: 16円 / kWh

年間電力料金比較(試算例)

